

令和6年度第5回学校運営協議会 議事録

❖ 日時 令和7年2月12日（水）14：30～16：20

❖ 場所 湖南高等学校 図書館

❖ 参加者

委員（敬称略・順不同）

佐藤 宗良、桑名 秀一郎、和田 祐樹、本田 康浩、野口 智行

（欠席：石田 慶仁、渡部 智子、大内 紀男、薄 良枝、佐藤 忠男、西脇 恵美、矢島 敦）

事務局

菊池 由喜男、会田 房男、森 修、佐藤 修一、久住 貴紀、渡部 実和子、五十嵐 稜

❖ 内容

1 開会のことば 菊池教頭

2 会長あいさつ

雪害が心配される。区長会でも雪害対策を市で制定された災害救助法に基づいて話し合いをしている。災害の防止含め地域のための取組に関する話し合いについて、本日もよろしく願いいたします。

3 校長あいさつ

2月9日、昨年まで本会会長を務めていた小山さんが御逝去されました。お悔やみ申し上げますとともに、本校に一方ならぬ御厚誼をいただいたことに感謝申し上げます。

この一年間、運営協議会の皆様や地域の皆様のサポートを受けながら、様々な取り組みをつつがなく進めることができました。

また先日、卒業判定会を実施し、3年生全員の卒業が認定されました。進路についても、1月30日をもって16名全員の進路が決定しましたことを御報告いたします。

先日の雪灯籠祭りでは、生徒による主体的な活動が見られました。生徒の積極的な広報活動により、地域の方々の御協力をいただき、御寄付により花火の打ち上げも実施できました。当日、生徒が配布するのを忘れてしまいました。アンケートの御協力をお願いいたします。（お手元のチラシ参照）

前期選抜入試について本日現在の志願者数は13名の志願がありました。明日締め切りとなりますが、現段階では昨年度より少ない状況です。特色選抜も今のところ出願されておりませんが、本校で頑張りたい生徒をサポートしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

また、本日もオブザーバーとして郡山市から宗形様に御来校いただきました。よろしくお願いいたします。

4 学校からの報告事項

(1) 第4回学校運営協議会議事録 p2～4

ホームページにも公開されているので御確認いただければと思います。

(2) コミュニティ・スクールとしての取組及びアンケート結果（別冊）森より

例年年度末にアンケート実施。本年度も教員及び生徒に実施。

【教職員】課題…多忙感。スクラップ&ビルド。

【生徒】課題…設備改修。SNS 発信の活用。本校の特色（そば）の強化。地域との行事を増やす。

*詳細は資料参照。

教頭 教職員の「多忙感」と生徒の「地域との行事を増やしたい」という部分でギャップがある。全体のバランスを見ながらどこから手を付けていくか悩ましいところ。御意見があれば頂戴したい。

(3) 令和6年度の教育活動を振り返って p 6～

ア アンケート結果について

1年生の女子生徒の数値が低い傾向にあり、全体の数値を下げている状態。

人間関係上の立ち位置が未だに不安定であることも影響しているように思われる。保護者と生徒間でもギャップがある。

*詳細は資料参照。

会長より 10 ページにトイレの件があるが、これは非常に重要。

いろいろなお祭りを運営しているが、トイレに関する要望は多い。

これからの若い世代はみんな洋式。市内の小中学校も改修している。

ぜひ高校の方でも進めてほしい。

校長より アンケートを取ったり、学校保健委員会で提言をしてもらったりした。

生徒から具体的な困り感の訴えがあった。特に女子生徒の月経があることによる困り感など、男性にはわからなかった部分も明らかになってきた。全体改修となると、予算が難しいところだが、現在改修に向けてこれまでよりも前向きに進んでいるところ。

桑名氏 10 ページに教職員の多忙感について書いてある。私も数よりも質を上げていくことに賛成。行事の数だけ多くても教師も生徒も大変。

教頭 今年度は道徳教育推進校として、例年よりは忙しかったという背景もある。生徒が主体的にできるようになると、先生方の多忙感は減っていくが、そこに持っていくための基礎力をつけることが大切である。取り組み方次第の部分はある。

和田氏 先日、雪灯籠祭りに参加させていただいた。妻が久しぶりに参加し、「生徒たちも含めて学校全体が明るくなったね。」という感想を述べていた。私自身も長く見ているが、明るくなったし、外の人に来て臆さなくなったように感じる。普段からの地域との関わりもあってこそだと思う。ここは行事が多くて大変という感じだが、他の学校では、生徒たちから「やりたいことが出てこない。見つからない。」という部分が課題になっている。インプットを丁寧にするということを念頭にここ数年やってきた部分ではあると思う。その過程の中で生じている多忙感やギャップだと思うので、課題を感じる反面、喜ばしい傾向でもあると感じている。

教頭 生徒たちが前向きになっているのは先生方も感じている。今は移行期となるが、そこから失敗も踏まえてどう経験させていくか考えていく時期なのかと考えている。

会長 先生方は大変だと思うが、何事も体験できるようにして行ってほしい。

イ 各部・各学年の年間目標及び反省について報告（別冊P24～）

*詳細資料参照。

ウ 各委員からの御意見等の確認（別冊P33～）

*詳細資料参照。

エ 事務からの報告 P5～

図書館のエアコン工事について説明。

トイレの洋式化について、県立高校についても順次改修の流れがある。

ただ順番待ちするだけではなく、部分的にだけでも改修できないか検討中。

和田氏 地域未来留学で、実際留学させるとなったときに、かなりマイナス要因になるのではないかと思う。

会長 体育館屋根の塗装とLED要望はしているのか。

事務 要望している。通りにくい要望ではないと想定している。

オ その他

なし。

5 協議事項

(1) 令和7年度のコミュニティ・スクールの活動について（別冊）

令和7年度も同様の内容で進めていけたらと考えている。

森 令和7年度は公開文化祭であるため、地域の皆様にも御協力いただくかと思えます。よろしく願いいたします。

会長 行事の際の移動時、事故等には十分な注意が必要かと思えます。交通手段の確保は大変かと思えますが、よろしく願いいたします。

本田氏 昨年度同様に実施とのことだが、先ほどのアンケートでもあったように、スクラップ&ビルドというのはどのタイミングでやっていくのか。

教頭 コミュニティ・スクールの活動としては地域の御協力をいただきながら、中身としては削減されるのではと考えている。

例えば、夕暮れ湖南塾の時間帯に地域の方で教えてくださる方がいれば、その時間の教職員の時間はあく…などの取り組みも例として今後考えられる。

和田氏 ・活動の内容は実施主体ごとに書いていただけるとわかりやすい。

・最近、湖南の観光について聞かれることが多い。湖南町を紹介する掲示物がもっとあればいいと思う。生徒の作った作成物を配付するなど、何かしらの形で連携できればと考えている。とはいえ、先生方の多忙感とのバランスは考えなければいけない。

和田氏 ・雪灯籠のSNS発信がもう少し早めだと、人もより集まるのではないのかと思う。来年度への改善点として生徒たちに伝えてほしい。

(2) 令和7年度の学校運営協議会委員についてP7～8

会則に従い、委員の任期は2年のため、特に問題がなければ令和7年度の委員について、継続でお願いします。

(3) その他

宗形氏 地域みらい留学の件について、課題を洗い出して精査する時間をいただきたいということで、1年先延ばしということで提案させていただいた。これから詳細を精査していく（定員、ひさご旅館様との相談、生徒の実質負担額…等）。その後予算化し、市長へ根拠を持って提案するという流れになる。また、猪苗代高校の地域みらい留学の募集が今年度実施されたので、具体的な部分を聞き取りし、参考とさせていただく予定。

別件で、北海道の幌加内高校でも蕎麦打ちに力を入れており、高校生が卒業後にそのままドイツで蕎麦職人になったというニュースを見た。湖南高校も蕎麦に関する取り組みが盛んで、他にも、いろいろな道に進むにあたってのサポートが充実している。その様子を見ていて、やりたいことを応援していける学校だと感じている。それらの魅力を発信できるように資料を作っていきたいと考えている。

和田氏 ・妹がロンドンにいるので、予算さえ取れば、湖南高校の生徒たちがパリで蕎麦打ちなどをする、というようなことにも協力可能。
・移住の部分でも今後取り組みを広げていきたい。移住プロジェクトとも連携しながら、生徒たちの受け入れも考えていければと思う。
・次年度もコミュニティ・スクールの取り組みを続けるということで、ぜひ校長先生と教頭先生には二人とも残っていただきたい。管理職が総入れ替えになることはないようお願いしたい。

森 地域みらい留学に向けて、学校としてやっておくことがあれば教えてほしい。

宗形氏 学校の魅力発信について、実際にフェスにおいてどのように紹介するのか、準備いただいて、市と共有してほしい。生徒自身の意見も取り入れてブースに出すポスターやチラシの作成をしていってほしい。

6 その他

7 閉会のことば

(16:20終了)